

令和6年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(1学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	・「総合的な探究の時間」の意義と学習活動の説明	・「探究活動」とは何か、課題研究のステップの概要について学ぶ。	「探究」に関する基礎的な知識・理解、また体験活動に積極的に取り組めたかを評価する。また、ワークシートにまとめて提出させる。 【課題意識】 【主体的な取組】	3
	5	・課題研究の取組に必要な情報収集について学ぶ	・新聞記事を題材として、情報源の種類と信頼性について学ぶ。 ・図書館、インターネット検索、人からの情報収集について学ぶ。		3
	6	・「SDGs」について学ぶ	・課題研究の批判的思考力の参考として「SDGs」について、体験ゲームや講演を通じて学ぶ。		4
	7	・高尾山の環境保護について学ぶ	・課題研究の課題発見の一例として、高尾山の自然保護について講演等を通して学ぶ。		3
2	9	・ユニクロ「服のチカラプロジェクト」	・外部団体と連携して、講演や活動を通して、地域で活躍する都立高校生の認識を深める。	体験活動の意義や、我々を取り巻く様々な課題を考えさせ、課題設定をさせる。 【課題意識】【主体的な取組】【行動変容】 地域に対する貢献意識の醸成 【課題意識】【社会貢献】 実際の自分の立場に置き換え、情報収集し、課題解決の中間整理を行う。【行動変容】 情報整理・分析 【主体的な取組】【行動変容】	3
	10	・八王子市の未来を考えるワークショップの参加	・八王子市役所より講演「八王子の課題と魅力ある街づくりについて」		4
	11	・八王子の課題を知り、魅力ある街づくりの提案	・興味関心を視覚化する作業を通じて「八王子の課題を知り、魅力ある街づくり」の提案レポートのテーマ決め、作成グループを決めるなどの活動を行う。		3
	12	・ユニクロ「服のチカラプロジェクト」	・外部団体と連携して、講演や活動を通して、地域で活躍する都立高校生の認識を深める。		3
3	1	・調査研究手法の検討 ・フィールドワークの準備	・グループでのテーマの設定 ・リサーチクエスションの検討、調査方法や研究手法の検討。 ・フィールドワークの調査・準備。 ・「発表評価カード」「聞き方評価カード」活用。	「発表評価カード」「聞き方評価カード」を用い、自己・相互評価を取り入れる。 【課題意識】 【主体的な取組】 【行動変容】 【社会貢献】	3
	2	・中間発表会の実施 ・年度末発表に向けての準備			3
	3				3
配当時間数の合計					35